

水産試験研究費「漁業資源対策研究」

紀伊水道における小型底びき網漁船によるシリヤケイカの漁獲動向

吉見圭一郎・住友寿明

徳島県の紀伊水道を操業区域とする小型底びき網漁業者は、時期毎に多種多様な魚種を獲って生計を立てている。地区毎・船毎、また時代によっても経営の柱となる漁獲対象種は変化する。現在、大半の漁船が装備している立網と複葉型オッターボードを組み合わせた網漁具で積極的に狙う重要魚種の一つに、近底魚のシリヤケイカが挙げられる。本種は漁獲量と価格が安定していること、短期間のうちに集中して漁獲されること、選別と出荷が容易であること、日中に多獲されることから、燃料油と資材費の高騰に喘ぎ、1人乗りで操業する小型底びき網漁船にとって、安定収入と漁ろう作業の合理化の面で今後ますます重要な資源になると考えられる。

そこで、本研究ではシリヤケイカの効率的な資源利用の在り方を検討する目的で、椿泊漁協の漁獲統計データから小型底びき網漁業による本種の漁獲動向を分析した。

調査方法

漁獲物の全量を漁協へ卸し、全船が同時期に同漁具を使って漁獲する椿泊漁協の小型底びき網漁船の漁獲データ

を用いて、出漁日数(日/月)、出漁隻数(隻/日)、CPUE(kg/日・隻)、MPUE(円/日・隻)、単価(円/Kg)を算出した。ただし、現時点で漁獲集計システムに集積している椿泊漁協の漁獲データ(1998年8月~2014年3月)については、2011年9月以前はシリヤケイカとコウイカの漁獲量が合算されているので、この期間の漁獲データは使わずに2011年10月~2014年3月の漁獲量と金額をまとめた。また、漁業者・漁協への聴取をおこない、紀伊水道における小型底びき網漁業によるシリヤケイカの漁期を明らかにした。

結果

椿泊漁協の漁獲データからシリヤケイカは12~2月に集中して漁獲され、1月に明瞭な漁獲と単価のピークが存在することがわかった。椿泊漁協の小型底びき網業者への聴取では、シリヤケイカは12~2月の3カ月間に立網で漁獲するとの情報を得たほか、紀伊水道を操業区域とする徳島市漁協と小松島漁協の出荷担当者への聴取でも本種の水揚げは12~2月の昼曳きに集中し、取引価格もこの間に安定す

表1. 椿泊漁協の小型底びき網によるシリヤケイカの漁獲動向(2011年10月~2014年3月)。

年	月	出漁日数 (日/月)	出漁隻数 (隻/日)	CPUE (kg/日・隻)	MPUE (円/日・隻)	単価 (円/Kg)	全漁獲金額に 占める割合 (%)	漁獲量 (Kg/月・隻)	漁獲金額 (円/月・隻)
2011	10	15	5	2	107	66	0.0	25	1,610
	11	22	3	2	202	101	0.1	45	4,448
	12	22	6	13	3,867	285	4.2	279	85,064
2012	1	19	11	162	66,695	398	58.9	3,081	1,267,205
	2	23	8	96	40,716	419	47.2	2,216	936,470
	3	11	3	1	147	246	0.0	6	1,615
	4	9	4	2	318	191	0.1	14	2,860
	9	1	1	1	50	50	0.0	1	50
	10	7	3	0	47	100	0.0	3	330
	11	16	7	13	3,039	175	2.9	207	48,625
	12	23	6	87	32,214	339	32.7	1,990	740,929
2013	1	18	11	441	170,318	387	92.3	7,937	3,065,731
	2	20	7	51	19,414	371	31.9	1,017	388,282
	3	10	4	1	240	323	0.1	7	2,403
	9	4	1	1	40	55	0.0	4	160
	10	18	5	3	218	88	0.1	49	3,916
	11	20	6	15	2,662	149	1.3	291	53,243
	12	24	5	75	29,022	329	18.4	1,810	696,517
2014	1	20	11	375	170,530	454	91.6	7,496	3,410,604
	2	17	7	105	47,525	454	45.4	1,781	807,927
	3	14	2	11	3,971	263	0.8	158	55,590

るとの話であった。これらのことから、紀伊水道における本種の漁獲時期は12～2月の3カ月間で、漁ろう時間は日中と判断された。

2011～2014年における3回の漁期中、椿泊漁協の小型底びき網漁船のほぼ全数に相当する16隻がシリヤケイカを狙って出漁し、2011年12月～2012年2月は5.6トン/3カ月・隻で229万円/3カ月・隻、2012年12月～2013年2月は10.9トン/3カ月・隻で419万円/3カ月・隻、2013年12月～

2014年2月は11.1トン/3カ月・隻で492万円/3カ月・隻の水揚げがあった（表1）。

また、12～2月の3カ月間において、全漁獲金額に占めるシリヤケイカの漁獲金額の割合は、2011～2012年は35 %（うち1月は59 %）、2012年～2013年は53 %（うち1月は92 %）、2013～2014年は55 %（うち1月は92 %）であった。

